

# 令和7年度

## 第1回海陽町地域公共交通会議

日時 令和7年8月29日(金)

午前10時～

場所 海陽町役場 海南庁舎

2階 No.3会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介【資料1】
- 4 会長の選任について【資料2】
- 5 町営バスの現状について【資料3】
- 6 徳島バス南部の現状について【資料4】【別紙1】【別紙2】
- 7 町営バス及び南部バスの必要性について【資料5】
- 8 穴喰地区町営バス予約制実証運行の期間延長について【資料6】
- 9 その他
- 10 閉会

## 令和 7 年度 海陽町地域公共交通会議委員名簿

令和7年8月29日現在

国のモデル要綱	施行規則第9条の3	氏名	所属及び役職等
1 市町村長（県知事）又はその指名する者	1 地域公共交通会議を主宰する市町村長又は都道府県知事その他の地方公共団体の長	横 考志	海陽町副町長
2 一般乗合旅客自動車運送事業者	2 一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	長井 信吾	徳島バス南部株式会社取締役社長
3 一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者		西山 達也	海南観光タクシー有限公司代表取締役
4 社団法人		重本 錦二	一般社団法人徳島県バス協会専務理事
5 住民又は利用者の代表	3 住民又は旅客	山田 尚央	伊勢田地区民生児童委員
		佐川 済昭	大内・村山地区民生児童委員
		藤塚 文弥	平井地区民生児童委員
		櫛田 恵子	中山・櫛川地区民生児童委員
		田中 光枝	船津・久尾地区民生児童委員
		辻 芳昭	川東地区公民館長
		谷本 憲作	川上地区公民館長
		大東 正人	浅川地区公民館長
		乃一 俊治	海部地区公民館長
	由木 和幾	穴喰地区公民館長	
6 運輸局長（運輸支局長）又はその指名する者	4 地方運輸局長	齊藤 信一郎	四国運輸局徳島運輸支局首席運輸企画専門官
7 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体	5 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体	なし	
8 道路管理者	6 道路管理者	挾谷 芳宏	徳島県南部総合県民局県土整備部予防保全・管理担当課長
9 都道府県警察	7 都道府県警察	元木 禎	牟岐警察署地域交通課長
10 学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	8 学識経験を有する者その他の地域公共交通会議の運営上必要と認められる者	北條 美也子	徳島県南部総合県民局地域創生防災部次長

## 会長の選任について

海陽町地域公共交通会議設置要綱第 5 条第 1 項「交通会議に会長を置き、会長には海陽町長又はその指名する者を充てる。」

会 長

海陽町副町長 横 考 志

## 町営バスの現状について

## 町営バスの沿革について

- ◎海陽町の町営バスの運行は、旧徳島バスの運行撤退により、それを引き継ぐ形で運行を開始
- ◎当初、旧海南町内の平井・皆ノ瀬・相川線の3路線と旧穴喰町内の久尾線の1路線が、代替バス路線として県の補助を受け運行
- ◎平成12年のまぜのおか・温水プールのオープンにあわせて、浅川巡回線の運行を開始
- ◎平成20年3月末で皆ノ瀬線を廃止、平成20年4月から海部線の運行を開始
- ◎平成23年4月に運賃の値下げを実施
- ◎平成24年1月から、老朽化したバス3台を小型の新車3台に入れ替え運行を開始
- ◎平成27年4月から、海部線を上下1便増便、久尾線を「穴喰診療所前」まで路線延長
- ◎平成29年1月から、老朽化したバス1台を新車に入れ替え運行を開始
- ◎平成30年1月から、老朽化したバス1台を新車に入れ替え運行を開始
- ◎平成31年2月から、海部線を「櫛川上」まで、浅川巡回線を「大山」まで延長
- ◎令和3年5月から、平井線・相川線を「海部公民館前」まで路線延長
- ◎令和4年1月から、老朽化したバス2台を新車に入れ替え運行を開始
- ◎令和5年2月から、浅川巡回線「大山」を予約運行へ改定
- ◎令和6年4月から、道の駅「穴喰温泉」バス停留所を移設し、他の公共交通機関停留所と集約化
- ◎令和6年10月から、久尾線「角坂下」から「角坂上」を旧角坂小学校前を通る路線へ変更
- ◎令和7年2月から、久尾線廃止し、穴喰地区デマンドバスとして予約制運行へ改定(実証運行中)
- ◎現在は、平井線・相川線・浅川巡回線・海部線の4路線と穴喰地区の1地区を運行中

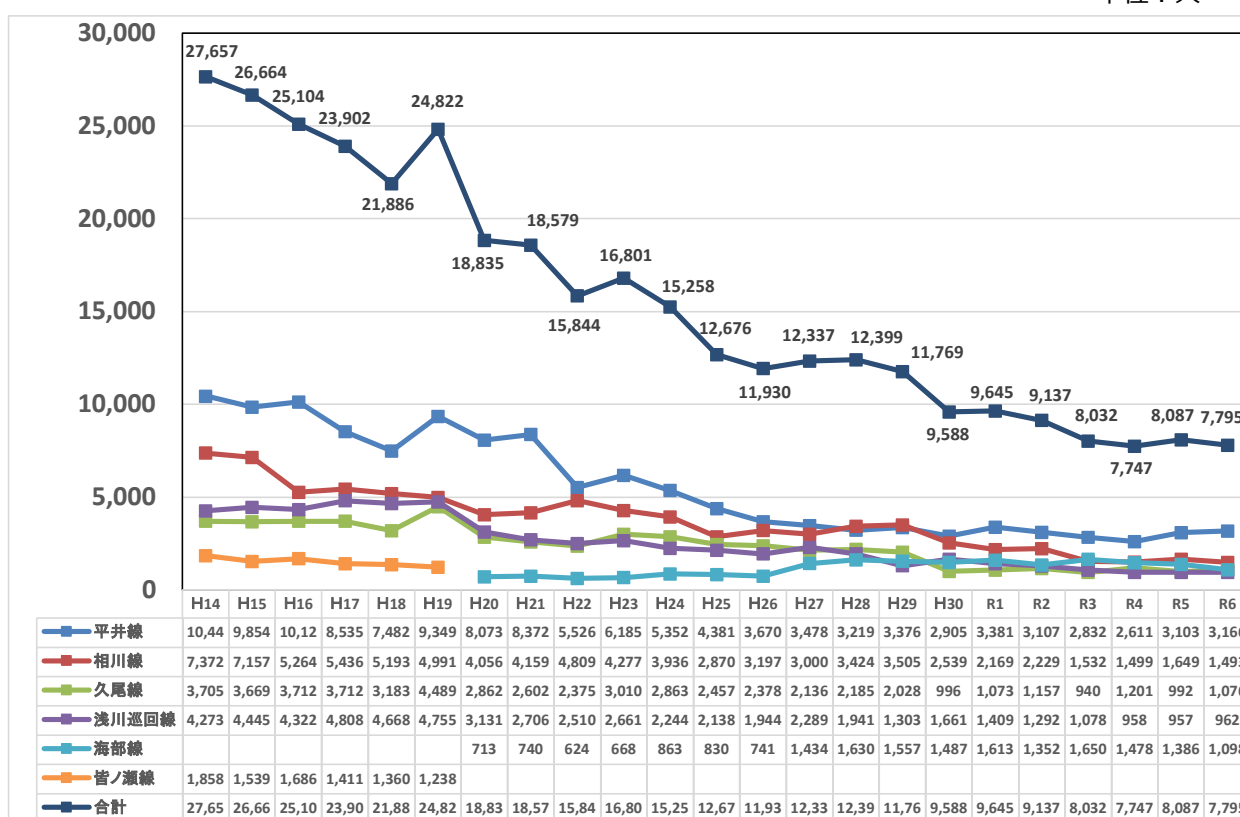
## 令和6年度 町営バス輸送人員数

単位：人

	平井線	相川線	浅川巡回線	海部線	久尾線	合計
合計	3,166	1,493	962	1,098	1,076	7,795
対前年度比	102.0%	90.5%	100.5%	79.2%	108.5%	96.4%
輸送人員比率	40.6%	19.2%	12.3%	14.1%	13.8%	100.0%

## 路線別輸送実績の推移

単位：人



## 令和6年度 町営バス路線別平均乗車人数

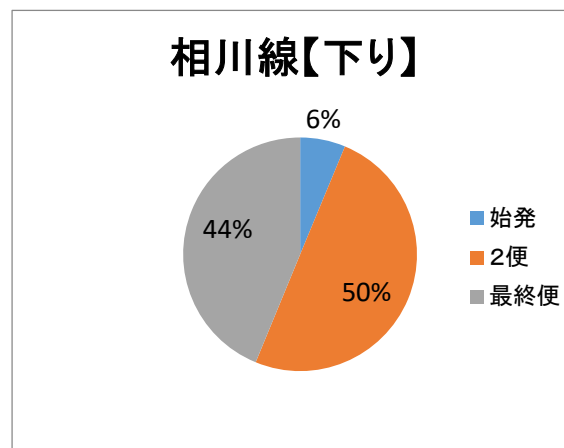
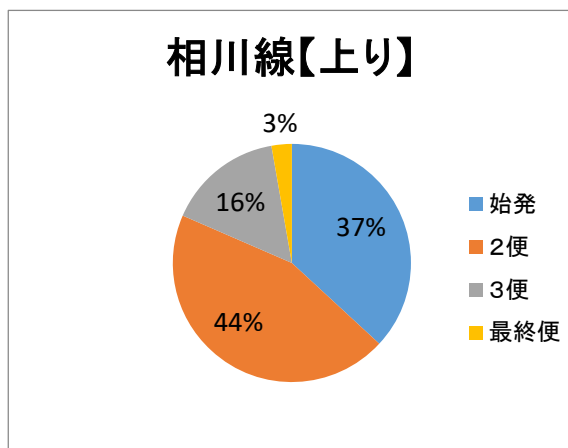
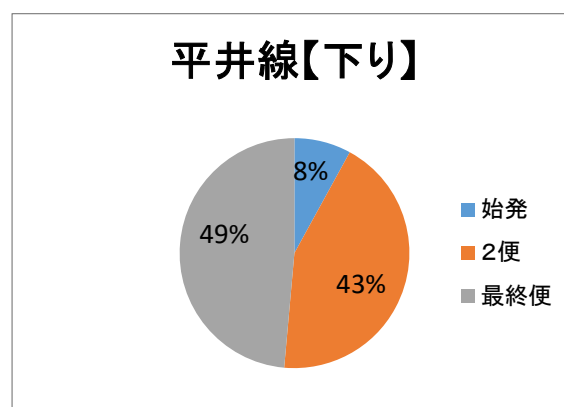
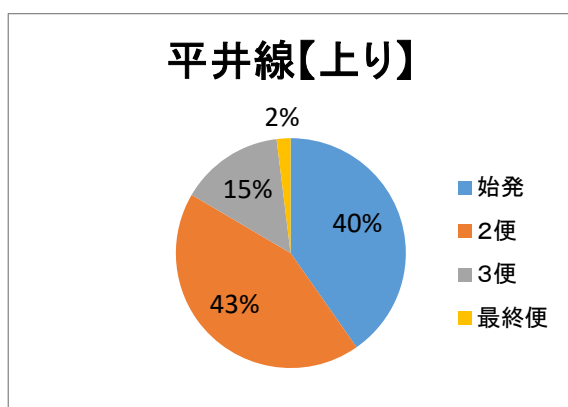
単位:人

上り	平井線	相川線	浅川巡回線	海部線	久尾線	便別平均
始発便	1.87	1.14	0.92	0.88	0.45	1.05
2便	2.00	1.38	0.49	1.21	0.87	1.19
3便	0.68	0.49	-	-	0.44	0.53
最終便	0.09	0.08	0.25	-	0.07	0.12
上り平均	1.16	0.77	0.55	1.05	0.46	0.75

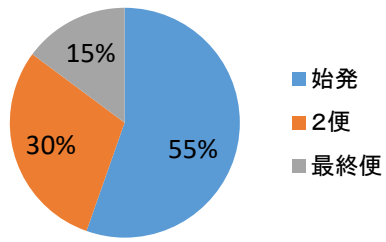
下り	平井線	相川線	浅川巡回線	海部線	久尾線	便別平均
始発便	0.33	0.11	0.13	0.45	0.47	0.30
2便	1.80	0.87	0.62	1.01	0.68	1.00
最終便	2.01	0.77	0.71	-	0.64	1.03
下り平均	1.38	0.58	0.49	0.73	0.60	0.74

全体	1.25	0.69	0.52	0.89	0.52	0.82
----	------	------	------	------	------	------

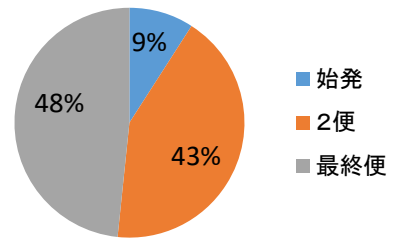
## 令和6年度 路線別の利用便内訳



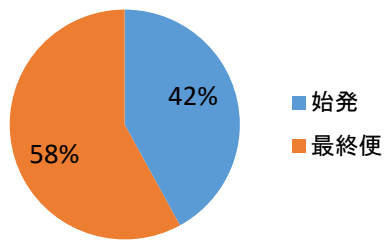
### 浅川線【上り】



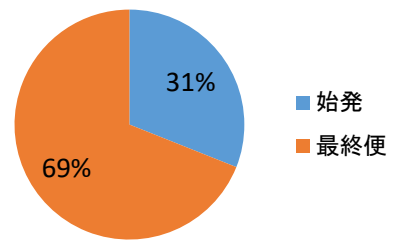
### 浅川線【下り】



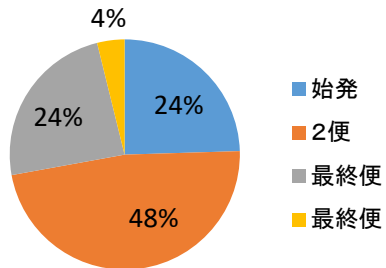
### 海部線【上り】



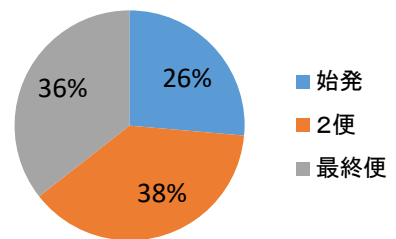
### 海部線【下り】



### 久尾線【上り】



### 久尾線【下り】

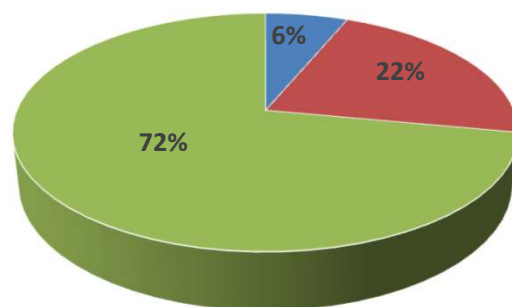


## 町営バス運行の収支状況の推移

単位：千円

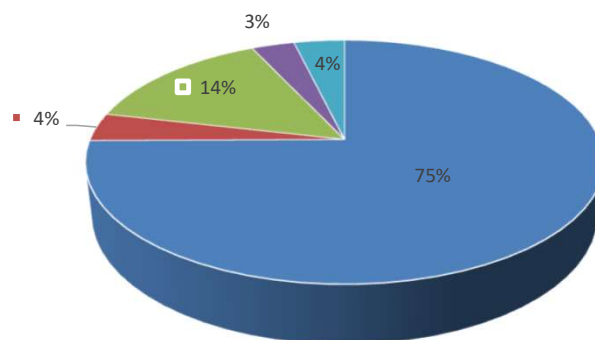
	歳入 (A)			歳出 (B)	差引き (一般財源) (A) - (B)
	県補助金	運賃収入	計	運行経費	
平成23年度	4,247	4,913	9,160	24,619	▲ 15,459
平成24年度	4,144	4,614	8,758	24,076	▲ 15,318
平成25年度	6,714	3,402	10,116	24,556	▲ 14,440
平成26年度	7,106	3,431	10,537	25,327	▲ 14,790
平成27年度	7,560	3,191	10,751	25,818	▲ 15,067
平成28年度	6,656	3,310	9,966	26,593	▲ 16,627
平成29年度	6,409	2,756	9,165	25,674	▲ 16,509
平成30年度	5,558	2,740	8,298	26,946	▲ 18,648
令和元年度	7,644	2,831	10,475	31,051	▲ 20,576
令和2年度	6,145	2,517	8,662	28,229	▲ 19,567
令和3年度	5,920	2,230	8,150	28,740	▲ 20,590
令和4年度	7,032	2,046	9,078	28,479	▲ 19,401
令和5年度	8,677	2,130	10,807	28,566	▲ 17,759
令和6年度	6,469	1,878	8,347	29,850	▲ 21,503

令和6年度収入内訳【29,850千円】



■ 町営バス運賃収入 ■ 県補助金 ■ 一般財源

令和6年度支出内訳【29,850千円】



■ 人件費 ■ 修繕費 ■ 燃料費 ■ 税金・保険・検査料 ■ その他

## 町営バス 車両一覧表

R7.4.1 現在

	種別	登録番号	乗車定員	車名	燃料	登録年月日	経過年数	走行距離(km)	年間平均走行距離
平井線 相川線	普通	徳島200さ590	15	トヨタ ハイエース	軽油	H24.1.16	13.2	526,093	39,856
	普通	徳島200さ751	23	日野 リエッセⅡ	軽油	H29.1.18	8.2	496,448	60,542
	普通	徳島200す792	25	日野 リエッセⅡ	軽油	H29.12.25	7.3	488,767	66,954
久尾線	普通	徳島200さ591	15	トヨタ ハイエース	軽油	H24.1.16	13.2	436,416	33,062
	普通	徳島200さ919	14	トヨタ ハイエース	軽油	R4.1.5	3.2	99,919	31,225
浅川巡回線 海部線	普通	徳島200さ920	14	トヨタ ハイエース	軽油	R4.1.5	3.2	137,145	42,858

※海陽町営バス 運行路線 5路線 バス6台にて運行（予備車両 2台）

久尾線と浅川・海部線各1台をR4.1.5に更新 車両購入費計 8,128,422円

## 徳島バス南部の現状について

## 徳島バス南部（株）年度別輸送人員実績

系統 No.	路線名 (地区名)	運行系統			運行 回数 (1日)					
		起点	経由地	終点		R2	R3	R4	R5	R6
22	牟岐線	牟岐	水床トンネル 甲浦新道	海の駅 東洋町	3.0	13,050	8,018	7,625	8,004	8,459
23	牟岐線	牟岐	竹ヶ島 甲浦旧道	海の駅 東洋町	1.0	4,536	2,852	2,671	2,953	3,270
24	牟岐線	牟岐	穴喰駅 竹ヶ島 甲浦旧道	海の駅 東洋町	0.5	2,750	1,687	1,619	1,793	1,889
25	牟岐線	牟岐	水床トンネル 甲浦旧道	海の駅 東洋町	0.5	2,360	1,439	1,356	1,448	1,450
26	牟岐線	穴喰祇 園通り	穴喰駅 竹ヶ島 甲浦旧道	海の駅 東洋町	0.5	1,638	857	938	1,137	1,231
27	牟岐線	牟岐	海南病院 水床トンネル 甲浦新道	海の駅 東洋町	1.5	6,451	3,993	3,840	4,092	4,225
28	牟岐線	牟岐	海南病院 竹ヶ島 甲浦旧道	海の駅 東洋町	1.0	5,980	3,710	3,766	4,176	4,398
29	牟岐線	牟岐	海南病院 穴喰駅 竹ヶ島 甲浦旧道	海の駅 東洋町	2.0	12,867	7,301	7,738	8,420	8,990
30	牟岐線	牟岐	海南病院 竹ヶ島 甲浦新道	海の駅 東洋町	1.5	7,576	4,741	4,675	5,192	5,631
31	牟岐線	牟岐	海南病院 穴喰駅 竹ヶ島 甲浦新道	海の駅 東洋町	2.0	12,578	7,344	7,653	8,388	8,917
合 計					13.5	69,786	41,942	41,881	45,603	48,460
対前年比（路線全体）							60.1%	99.9%	108.9%	106.3%

## 町営バス及び南部バスの必要性について

本町の町営バスは、主に山間部過疎地域の、他に公共交通手段のない住民を対象として運行をしているが、人口減少に伴い、バス利用者も減少している。

これまで、利用者の増加や経営改善に向けて、運賃の改定や運行形態の見直し、二重路線の廃止・バスの小型化等によるコスト削減等を図ってきた。

利用者の多くが高齢者の方で医療機関への通院や買い物に利用されていることや学校の統廃合によって広がった校区の通学にも利用されていることを考えると福祉的・教育的な観点から運営もやむを得ないが、経営感覚をもった運営も求められる。

また、主に国道 55 号を運行している徳島バス南部については、県立海部高校、J R 牟岐駅や県立海部病院への移動など、大きな役割を担っており、住民の重要な移動手段となっている。

過疎地域に住む他に公共交通手段を持たない住民に対し、交通手段を確保することも行政の責務であることから、今後の町営バスの運行については、次の取り組み方針（案）により運行を継続したいと考えている。

## 運行継続に向けた取り組み方針について（案）

1. 社会情勢の変化に的確に対応し、DMVと鉄道とバスなど、他の公共交通機関との連携を図り、新たな地域公共交通網の形成をめざす。
2. 地域のニーズに合わせ、運行形態を柔軟に見直し、利用者の利便性を向上させることで、利用者の増加を図る。
3. 車両施設の適正管理に努め、更なるコスト削減を図る。
4. 住民の利便性を確保するため、徳島バス南部の路線維持に必要な支援を行う。

宍喰地区町営バス予約制実証運行の期間延長について（案）

◆ 事業状況・目的

宍喰地区において、令和7年2月3日（月）から実施している町営バスの予約制実証運行について、従来の定時定路線で運行していた町営バス久尾線と比較すると、利用者数の減少が見られる。利用登録者数に対して利用者数が少ない要因として、「事前予約の手間が増えた」や、以前からの課題である「利用したいときにすぐに呼べない」といった点が考えられ、利用のしづらさが課題となっている。

久尾線乗車実績（令和6年2月から7月まで）

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
乗車人数	76人	60人	98人	97人	118人	168人	617人

予約制運行乗車実績（令和7年2月から7月現在）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
予約数	1件	21件	23件	19件	27件	19件	21件	131人
乗車人数	－	32人	41人	34人	45人	37人	35人	224人
前年比	－	▲44	▲19	▲64	▲52	▲81	▲133	▲393人

利用登録者数（令和7年1月から7月現在）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
登録者数	49人	6人	2人	3人	0人	1人	1人	62人

しかしながら、この実証運行に対しては「家の前まで来てくれるため便利になった」という利用者の声も寄せられており、地域住民の移動手段を確保する上で有効な移動手段の一つとなっている。また、運行開始以降も利用登録者数は増加しており、移動手段に不安を感じている方が一定数いることが推測される。したがって、利便性を向上させることにより、利用者数の増加が見込まれる。

これらを踏まえ、現在の運行内容を継続しつつ、今後の利便性向上を図るために運行内容の見直しを検討する。実証運行期間を令和8年3月末まで7カ月間延長し、公共交通を真に必要とする方々を特定し実証運行の効果を引き続き検証を行う。

実証運行期間 令和7年2月3日(月)から令和7年8月29日(金)まで



令和7年2月3日(月)から令和8年3月31日(火)まで

◆予約制運行に伴う経費の差額

令和6年2月から7月(久尾線)

(単位:円)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
燃料費	45,159	46,035	51,235	41,114	48,313	57,056	288,912
委託料	99,000	148,500	132,000	99,000	99,000	99,000	676,500
合計	144,159	194,535	183,235	140,114	147,313	156,056	965,412

令和7年2月から7月(宍喰地区予約制運行)

(単位:円)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
燃料費	5,088	8,584	8,267	7,949	14,553	13,965	58,406
委託料	16,500	33,000	8,800	—	—	24,200	82,500
通信費	3,087	3,732	3,776	3,754	3,578	3,798	21,725
合計	24,675	45,316	20,843	11,703	18,131	41,963	162,631
差額	▲119,484	▲149,219	▲162,392	▲128,411	▲129,182	▲114,093	▲802,781

予約制運行の導入により、運行本数の減少および走行距離の短縮に伴い燃料費が大幅に削減されている。また、実証運行の開始前は、委託契約により土曜日および祝日の運行を行っていたが、実証運行では土曜日・日曜日、祝日は運休としているため、これらも燃料費および委託料の削減要因となっている。

なお、予約制運行の実施にあたっては、新たにコールセンターの通信費が発生している。

◆令和7年度 宍喰地区町営バス予約制運行のシステム導入及び海陽町全域における公共交通検討調査について

令和7年度事業として、宍喰地区町営バスの予約制運行にシステムを導入し、コールセンターによる受付から運転手への情報伝達をスムーズに行うとともに、運行日報などの運行管理作業の効率化を図っていく。また、「海陽町ふるるんアプリ」と連携することで、アプリ内で予約が可能となり利用者の方がスムーズに手続きを行えるよう、システムの構築を目指す。

さらに、宍喰地区町営バス予約制運行においては、利用者が自宅前から乗車できるように車両の小型化を進めていく。車両は、5人乗りの車両と現行の14人乗りハイエース(トヨタ)の計2台で予約人数に応じて乗り合いにより運行を行う予定である。

また、実証運行の方向性については、当日のいつでも予約を可能とし、土曜日・祝日の運行を検討する。

加えて、海陽町全域において、各地域の特徴に合った運行形態の導入を進めていくため、今年度はアンケートやヒアリングなどの調査を行い、来年度以降に新たな交通形態の実証運行を開始できるよう調査事業も併せて行っていく。